

イブキジャコウソウで畦畔法面を被覆して管理を省力・軽労化

【1 成果概要】

- (1) イブキジャコウソウを畦畔法面に定植すると、翌年には全面を被覆し、雑草の発生を抑えます。被覆後は、1～2年に一回程度の刈込を実施することで維持できます。草刈の回数を減らし、畦畔管理の省力化や軽労化が図られます。なお、畦畔天板は歩行に支障をきたすため定植しないで下さい。



注) マニュアルは岩手県農業研究センターホームページ(資料室)より利用可

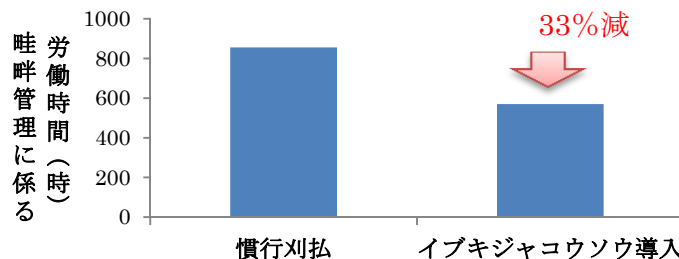
(平成29年度改)

栽培ごよみ

図1 イブキジャコウソウ栽培マニュアル

	1年目(定植年)						2年目以降			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月				
作業内容	挿し木			育苗	定植前除草	定植	初めて導入する場合は苗を購入	防草シート除去	刈り込み(1～2年に1回程度)	除草(必要に応じて)
生育	50穴セル苗		防草シートを使って定植							

- (2) 法面が長大なほ場が多い地域を一事例として、イブキジャコウソウを地域全域で導入した場合、畦畔管理に係る労働時間は慣行刈払体系に比べて約30%の低減が期待できます



注) 地域全域のほ場法面全体(導入部分は隣接ほ場間法面と排水路側法面)への導入を前提とし、定植・定着後の通常管理の労働時間を試算。

【2 留意事項】

苗は、(公社)岩手県農産物改良種苗センターから購入できます。育苗に時間を要するため、定植予定の1ヶ月以上前に購入申込が必要です。

なお、この栽培方法は、上記種苗センターが供給する苗を使用した場合のものです。

※本成果は、復興庁・農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」で得られた成果です。

担当研究室 プロジェクト推進室

〒024-0003 北上市成田20-1 TEL. 0197-68-4412 FAX. 0197-71-1081